

決 算 報 告 書

(第 31 期)

自 令和 3年10月 1日
至 令和 4年 9月30日

梅田建設有限会社

伊勢市前山町999

損 益 計 算 書

梅田建設有限会社

自 令和 3年10月 1日
至 令和 4年 9月30日

科 目	金 額	
		円
I 【売 上 高】		
完成工事高	605,345,842	
プラント売上高	50,661,571	
前山プラント売上高	72,621,426	
売上値引戻り高	△1,491,532	727,137,307
II 【売 上 原 価】		
当期製品製造原価	538,278,774	538,278,774
売 上 総 利 益		188,858,533
III 【販 売 費 一 般 管 理 費】		110,326,227
営 業 利 益		78,532,306
IV 【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	4,465	
受 取 配 当 金	60,000	
雑 収 入	29,007,909	29,072,374
V 【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	45,600	
雑 損 失	287	45,887
経 常 利 益		107,558,793
VI 【特 別 利 益】		
貸倒引当金戻入益	450,000	450,000
税 引 前 当 期 純 利 益		108,008,793
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	38,520,823	38,520,823
当 期 純 利 益		69,487,970

販売費及び一般管理費

梅田建設有限会社

自 令和 3年10月 1日
至 令和 4年 9月30日

科 目	金 額
	円
役 員 報 酬	38,400,000
事 務 員 給 料	14,648,629
賞 与	1,610,000
法 定 福 利 費	2,873,171
福 利 厚 生 費	1,372,093
消 耗 品 費	2,357,767
事 務 用 品 費	931,947
賃 借 リ ー ス 料	379,047
保 險 料	11,843,460
修 繕 費	823,589
減 価 償 却 費	4,828,188
施 設 利 用 権 償 却	107,990
旅 費 交 通 費	912,920
通 信 費	2,043,232
水 道 光 熱 費	2,660,733
支 払 手 数 料	625,676
広 告 宣 伝 費	1,400,698
租 税 公 課	1,438,942
接 待 交 際 費	3,739,783
新 聞 図 書 費	434,004
諸 会 費	1,186,153
販 売 促 進 費	8,132,356
会 議 費	20,742
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	350,000
管 理 諸 費	1,979,324
雑 費	5,225,783
合 計	110,326,227

工 事 原 価 報 告 書

梅田建設有限会社

自 令和 3年10月 1日
至 令和 4年 9月30日

科 目	金	額
		円
I 【材 料 費】		
材 料 仕 入	1,081,412	
当 期 材 料 費		1,081,412
II 【労 務 費】		
賃 金 手 当	132,331,316	
雑 給	4,687,943	
賞 与 手 当	13,530,000	
法 定 福 利 費	18,320,984	
福 利 厚 生 費	4,627,728	
当 期 労 務 費		173,497,971
III 【外 注 費】		
外 注 加 工 費	166,907,566	
当 期 外 注 費		166,907,566
IV 【経 費】		
消 耗 品 費	15,839,475	
地 代 家 賃	15,480,000	
賃 借 リ 一 ス 料	34,524,135	
保 險 料	7,764,570	
修 繕 費	46,178,366	
減 価 償 却 費	16,105,822	
旅 費 交 通 費	1,143,074	
通 信 費	240,112	
水 道 光 熱 費	2,865,408	
車 両 等 燃 料 費	35,250,107	
租 税 公 課	3,311,200	
管 理 諸 費	1,187,880	
雑 費	4,061,219	
当 期 経 費		183,951,368
当 期 総 製 造 費 用		525,438,317
期 首 仕 掛 品 棚 卸 高		26,707,607
期 末 仕 掛 品 棚 卸 高		13,867,150
当 期 製 品 製 造 原 価		538,278,774

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

梅田建設有限会社

自 令和 3年10月 1日
至 令和 4年 9月30日

(単位：円)

	株 主 資 本										評 価 ・ 換 算 差 額 等			新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金				自 己 株 式	株 資 合 計	主 本 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等				
	資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金		利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金					そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
		資 本 剰 余 金 計	積 立 金			そ の 他 利 益 剰 余 金	繰 越 利 益 剰 余 金								
当期首残高	10,000,000	0	0	0	0	0	451,682,788	451,682,788	0	461,682,788	0	0	0	0	461,682,788
当期変動額															
当期純利益							69,487,970	69,487,970		69,487,970					69,487,970
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)															
当期変動額合計							69,487,970	69,487,970		69,487,970					69,487,970
当期末残高	10,000,000	0	0	0	0	0	521,170,758	521,170,758	0	531,170,758	0	0	0	0	531,170,758

個別注記表

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

棚卸資産の評価方法

未成工事支出金…………… 最終仕入原価法による原価法によっております。
商品・原材料・貯蔵品…………… 最終仕入原価法による原価法によっております。

有価証券の評価方法

売買目的有価証券…………… 時価法（評価差額は切り放し方式により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。
満期保有目的債券…………… 償却原価法（利息法）によっております。
その他有価証券…………… 移動平均法による原価法によっております。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産
定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物については定額法によっております。
無形固定資産
定額法によっております。
またソフトウェアは利用可能期間を5年とし、定額法により償却しております。

重要な引当金の計上の方法

貸倒引当金
金銭債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権は法定繰入率による方法により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の内容を個別に検討する方法により所要額を計上しております。

収益・費用の計上基準

売上高の計上は、検収基準によっております。

消費税等の会計処理方法

税抜経理方式によっております。

2 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

発行済株式	前期末株式数（単位：株）	当期末株式数（単位：株）
普通株式	200	200
合計	200	200

3 一株当たりの情報に関する注記

一株当たりの当期純利益

一株当たりの純資産額
一株当たりの純資産額 2,655,853円 79銭

一株当たりの当期純利益
一株当たりの当期純利益 347,439円 85銭

4 その他の注記

会計表示に関する事項

- 1、軽油引取税については、完成工事原価の「車両等燃料費」の科目に含んでいますが、消費税の経理処理については、課税対象外取引として経理しています。
- 2、未成工事に関する経理方法を、長期工事において期中に支払われる工事中間支出金と、工事中間支出金に計上していない旧来の仕掛工事の合計金額を未成工事支出金として区分経理し管理しています。その結果、工事中間支出金については買掛金計上時に仮払経理することとなるため、通常消費税の税抜経理方式と異なり、税込み金額で表示されます。

以上の通り提出します。

令和 4年11月19日

梅田建設有限公司

代表取締役 梅田成壽